
2016 年度公認水泳指導員研修会要項

1. 目的

指導員は常に新しい水泳の知識と技術を身につけ、新しい指導法も同様に取り入れる努力が必要である。また、社会体育指導者としての地位の向上を目的としてこの研修を義務づける。

2. 登録の更新及びその要件

資格の継続を望み、登録を更新しようとする者は、資格有効期限（4年間）内に1回以上、(公財)日本水泳連盟が定める研修を受けなければならない。

3. 主催 (一社)千葉県水泳連盟

4. 後援 (公財)千葉県体育協会

5. 対象 (公財)日本体育協会公認スポーツ指導員・上級指導員(水泳) (公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員

6. 定員 50名

7. 参加費 5,000円

8. 日程及び会場

	日 時	会 場	申し込み期間
第1回	2016年8月7日(日) 9:00~16:00	千葉県国際総合水泳場	6/15~7/25 必着
第2回	2017年2月11日(土) 9:00~16:00	千葉県国際総合水泳場	12/15~1/31 必着

※申し込み期間はそれぞれ必着としますが、定員になり次第締め切ります。資格有効期限に余裕を持って受講してください。

※有効期限が2016年9月の指導員・上級指導員、2016年3月の基礎水泳指導員で未受講の方は、今年度必ず受講してください。さもないと資格が失効してしまいます。

※有効期限が2017年9月の指導員・上級指導員、2017年3月の基礎水泳指導員で未受講の方は、今年度研修を受けないと資格の更新ができません。また資格が失効することがありますのでご注意ください。

9. 研修内容 学科2. 5時間、実技2. 5時間

10. 申し込み方法

(1) ①と②を申し込み先へ送付して申し込む。

①申込用紙（A4サイズで各自作成）

1. 氏名（フリガナ）
2. 性別
3. 生年月日及び研修会当日の年齢
4. 指導員資格の登録番号及び有効期限
5. 現住所
6. 電話番号
7. 緊急連絡先
8. 指導教本の購入希望の有無
を明記すること。

②返信用封筒（宛名明記・82円切手貼付）

(2) 申し込み先

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1

木更津工業高等専門学校内 荒木 英彦 宛

※封筒の左わきに「水泳指導員研修会申し込み」と種別をはっきり赤字で書き、裏に自分の住所・氏名を書くこと。

11. 研修会に参加する時の諸注意

(1) 持参する物

- ①指導員登録証（紛失された方は研修会当日お申し出ください）
- ②参加費 5,000円
- ③水着・スイムキャップ・ゴーグル等
- ④水泳指導教本

(2) 参加認定

遅刻・早退は、研修修了者とは認められません。

(3) 有料駐車場がありますが、できるだけ電車・バス等の利用をお願いします。

12. その他

(1) 義務研修の特例（該当する方は、受付の際、その旨を申し出てください。）

65歳に達した方は、研修の一部を免除することができる（心肺蘇生の免除は行わない）。ただし、登録後満5年未満の指導員は除く。

(2) 教本は希望者には販売いたします（2,500円）。

(3) 研修会に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

（一社）千葉県水泳連盟普及委員会 事務局 荒木 英彦

TEL&FAX 0438-30-4051

E-mail araki@h.kisarazu.ac.jp

2016年度(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員

養成講習会・検定試験要項

(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員の養成・検定を実施するもので、検定試験までに40時間(家庭学習を含む)の講習を実施する。

途中での遅刻、欠席及び講習会・検定試験どちらかのみ受講・受験は認めない。

1. 主催 (一社)千葉県水泳連盟
2. 後援 千葉県教育委員会・(公財)千葉県体育協会
3. 期日 講習会 2016年11月19日(土) 11月23日(水・祝) 12月4日(日)
12月10日(土) 12月18日(日) 計5日間
検定試験 2017年1月7日(土)
4. 会場 千葉県国際総合水泳場
習志野市茜浜2-3-3 Tel 0474-51-1555
5. 定員 40名
6. 受講・受験資格 満年齢18歳以上の者(高校3年生は17歳でも受講・受験可)
7. 受講・受験料 一般20,000円
学生15,000円(検定料を含む)講習会当日ご持参ください。
8. 講習会日程(予定) ※申込者には詳細を郵送致します。
11月19日(土) 11月23日(水・祝) 12月4日(日) 12月10日(土) 12月18日(日)
9時~12時 学 科 実 技 実 技 学 科 実 技
13時~17時 学科・実技 実 技 実 技 実 技 実 技
※テキストは(公財)日本水泳連盟監修の「水泳指導教本」(大修館)とする。
お近くの書店でお求めいただくか、受講申込の際に申し込んでください。
9. 検定試験日程 1月7日(土)
午前:実技試験(100m個人メドレー・横泳ぎ・潜行・心肺蘇生)、面接
午後:学科試験
10. 講師 (一社)千葉県水泳連盟検定委員 他
11. 申し込み方法 ①右頁様式を各自で作成し、返信用封筒(82円切手貼付・自分の宛先明記のこと)を同封し申し込む。
②受講・受験料は、講習会当日ご持参ください。
③ただし、定員40名に対して、希望者10名未満の場合は実施しないので、ご了承ください。
④申込み先 〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1
木更津工業高等専門学校内 荒木 英彦 宛
⑤問い合わせ先
(一社)千葉県水泳連盟普及委員会 事務局 荒木 英彦
Tel&Fax 0438-30-4051
E-mail araki@h.kisarazu.ac.jp

12. 申込み期間 ①2016年9月5日～11月5日とする。
 ②申込者が10名に満たない場合は開催いたしません。
13. 持参するもの ①筆記用具。
 ②運動のできる服装。
 ③水着・スイムキャップ、その他水泳に必要なもの（ゴーグル等）。
 ④着替え、他必要なもの。
 ⑤常備薬等、特に必要なもの。
14. 申込み用紙様式

① A 4 縦・横書き

基礎水泳指導員申込書	
フリガナ	
1. 氏名	㊟ 男・女
2. 生年月日	年 月 日 生年齢(満 歳)
3. 住所〒	県 Tel
4. 勤務先 (学校名)	
同住所	Tel
5. 指導教本の希望	有 無

② 返信用封筒

82 円	〒
	申
氏	込
	者
名	の
	住
様	所

テキスト（指導教本）希望者は申込書の下に、「教本希望」と明記してください。
 代金は2,500円です。（講習会当日徴収）

※「(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員」資格は、「(公財)日本体育協会公認指導員・コーチ」資格を取得する際の基礎資格となります。

2016年度(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員

養成講習会(補講)・検定試験(再試験)要項

1. 主催 (一社)千葉県水泳連盟
2. 期日 講習会 2016年11月19日(土) 11月23日(水・祝) 12月4日(日)
12月10日(土) 12月18日(日) 計5日間
検定試験 2017年1月7日(土)
3. 会場 千葉県国際総合水泳場
習志野市茜浜2-3-3 Tel 0474-51-1555
4. 受講・受験料 補講料(受験料を含む)5,000円(学生3,000円)
再受験料 学科2,000円 実技2,000円
※当日ご持参ください。
5. 講習会日程(予定)
11月19日(土) 11月23日(水・祝) 12月4日(日) 12月10日(土) 12月18日(日)
9時~12時 学科 実技 実技 学科 実技
13時~17時 学科・実技 実技 実技 実技 実技
※申込者には詳細を郵送致します。
6. 検定試験日程 1月7日(土)
午前:実技試験(100m個人メドレー・横泳ぎ・潜行・心肺蘇生)、面接
午後:学科試験
7. 申し込み方法 ①検定試験結果通知書のコピー(補講の受講の有無を明記のこと)
と返信用封筒(82円切手貼付・自分の宛先明記のこと)を同封して
申し込むこと。
②申込み先 〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1
木更津工業高等専門学校内 荒木 英彦 宛
③補講料・再受験料は、当日ご持参ください。
④問い合わせ先
(一社)千葉県水泳連盟普及委員会 事務局 荒木 英彦
Tel&Fax 0438-30-4051
E-mail araki@h.kisarazu.ac.jp
8. 申込み期間 2016年9月1日~11月5日とする。
9. その他 補講の受講は義務ではありません。希望者のみ受講してください。
再受験のみでも結構です。

(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員規則(抜粋)

1 趣旨

(公財)日本水泳連盟では、社会体育の一環として、安全で正しい水泳の普及と発展を図る目的で少しでも多くの良い指導者を養成するために、水泳指導員の資格検定試験及び認定を行っている。

2 基礎水泳指導員の任務

(公財)日本水泳連盟もしくはその加盟団体あるいは、公共団体もしくはその機関等が主催又は主管する水泳事業に協力するとともに、スポーツクラブやスポーツ教室等において基礎的指導に当るほか、指導員やコーチを補佐し、適切な水泳指導に当ることができる。

3 検定試験の科目及び内容

(1) 実技

採点は、合=○、否=×とし、各種目で1つでも×があれば不合格とする。

身体に障害を持つ受験者に対しての判定に当たっては、その障害が、本人の不利とならないように配慮する。

※あらかじめ十分練習して正しい泳ぎ(模範となる泳ぎ)を身につけておくこと。

種 目	条 件
①100m個人 メドレー	1. 制限タイム(男子1分40秒、女子1分50秒)以内で泳ぐ。 36歳から1歳につき1秒加算する。 2. 競泳競技規則に違反しないこと。また、次の場合も不合格とする。 ・競泳競技規則の泳法違反とまではいかないが、まぎらわしい泳ぎ。 ・バタフライでドルフィンキック以外のキックをした場合。 ・自由形においてクロール以外で泳いだ場合。
②横泳ぎ	1. 20mを12あおり以内(出発は壁・水底を蹴らない)で泳ぐ。 2. 次の場合は不合格とする。 ・横体姿勢が崩れた場合(45°以上傾いた場合) ・顔が水没する場合 ・逆あおり・カエル足を使用した場合 ・手が水上に出る場合(さき手で水をかいても可) ・スカーリングを使用した場合
③潜 行	1. 男子20m、女子15mを平浮きの姿勢から潜水し、完全に潜行する。 2. 水中泳形は自由。
④心肺蘇生	1. 胸骨圧迫を含む心肺蘇生。2分30秒間行う。 2. 手順を間違えた場合は、不合格とする。 ただし、本人が気づき、手順を正した場合は可。

(2) 学科

各科目ごとに100点法で評価し、全科目60点以上を合格とする。

科目名	主な内容
①水泳と生活・歴史	水泳の意義・特性・歴史
②水泳の科学	水泳の科学（運動原理、ストロークメカニクス）
③水泳指導者・水泳指導法	水泳と指導者、年齢別指導法、対象に応じた指導
④水泳の管理と安全対策	水泳事故、保健、応急手当
⑤競泳競技規則と審判法	競泳競技規則、審判法

(3) 面接

水泳指導者としての適格性を、ABCの3段階により判定する。

Cが1つでもあれば不合格とする。

①人物に関する事項	態度、言語、品性、教養、健康
②水泳に関する事項	熱意、研究心、資格取得の目的、水泳指導の基本的考え方